

テレビ愛知 報道制作局アナウンス部 部長

中本 克樹さん

1986年 法経学部法学科 卒業



アナウンサーの自分は、貪欲な大学生活から生まれた。

叶えなかった夢に、まだ先があった。

アナウンサーになりたいというのが、大学入学前からの夢でした。愛大の車道キャンパスを選んだのも、名古屋の放送局各社に近いから。大学時代、サークルは広告研究会、勉強しながらタレント養成所に通い、アルバイトですがラジオ局のアナウンサーの仕事も始めていました。夢実現のためには、あらゆるチャンスを逃すまいと考えていたのです。何にでもチャレンジできる自由な雰囲気が愛大にはあったことも幸いでした。

1年間の就職浪人の後、晴れて岡山のテレビ局に報道アナウンサーとして就職できました。ところが仕事でスポーツ実況を経験して以来、そちらの面白さに惹かれるようになりました。

ただ、残念なことに岡山にはプロスポーツチームがなく、スポーツ実況の機会は多くありませんでした。そんな時、テレビ愛知がアナウンサー経験者を募集していると知り、スポーツアナウンサーとして働けるということで転職を決めました。



「とりあえず」でも、まずは行動すること。

最近の仕事は管理業務が中心となりましたが、それでも年に何度かはドラゴンズ戦の実況をします。実況をするには、事前に充実した取材が不可欠です。実はそこが面白いと思っています。普段から選手と信頼関係を築く努力をし、そこから得た話題を織り交ぜながら放送を組み立てていきます。努力が報われた瞬間に、大きな魅力を感じるのです。

こんな私がよく使うのが、「とりあえず」という言葉です。何か目標があるなら、あれこれ悩むより先に、とりあえず動いてみる。そこから道が拓けてくることが多いものです。たとえそれが最終目標につながらなかったとしても、自分から行動して学んだことは、将来、生きてくるはずですよ。

放送、新聞などマスコミ業界で働く愛大卒業生は少なくありません。「愛大マスコミ会」も活動しています。

会では後輩に期待する声が強いですから、皆さんもぜひこの世界に飛び込んで来てください。夢や興味があれば「とりあえず」行動することです。

学生へのメッセージ

学ぶ意欲が強いのが愛大の学風。努力する姿勢や、潜在能力の高さは就職の際の大きな武器です。それを活かすためにも、もっと表に出て自己主張してほしいと思います。真面目で大人しいイメージを打破してください。